

岩見沢市

緑の相談コーナーだより

No. 352

2014 年 10 月 1 日 発行

〒068-0833 岩見沢市志文町 794 番地 いわみざわ公園 室内公園「色彩館」

チャノキ

Camellia sinensis (Linnaeus) Kuntze

普段植物に馴染みが無い人でも、お茶と全く縁が無い人は、まず居ないのではないのでしょうか。茶道が様々な流派の成立とともに発展し、茶道の道具の追求が焼き物をはじめ様々な工芸を発展させ、懐石料理や茶菓子など食文化にも大きな影響を与えたことを考えると、もしもお茶が無ければ日本文化は今とは随分と異なった姿になっていたであろうことは、明らかでしょう。



チャノキの原産地は中国中南部から東南アジアにかけての地域だとされています。幾つかの変種が知られており、その中でもアッサムチャ(*C. sinensis* var. *assamica*)とチャノキ(*C. sinensis* var. *sinensis*)が広く栽培されています。基本的には高さ1~2mの低木ですが、アッサムチャは10m以上の高木になることがあります。葉は互生し、長さ約6cm、楕円形で先がやや尖り、縁に小さく短い鋸歯が並びます。花は直径2~3cm、5枚の花弁は白色で、下向きに咲くことが多く、黄色い雄しべや雌しべとのコントラストが美しい、可愛ら

しい花です。ツバキ科ツバキ属(*Camellia*)の特徴として子房は3室あり、それに従って種子は1個の果実から2~3個とれます。

摘んだ後の茶葉は、その後の処理方法(熱処理の有無、発酵の有無や方法・時期)によって緑茶、紅茶、ウーロン茶など様々なお茶となります。チャノキの原産地に近い中国の雲南省では涼拌茶(りょうばんちゃ)と呼ばれる茶葉をサラダのようにして食べる料理があります。雲南省やアッサムチャの原産地であるインドのアッサム州と隣接するミャンマーでは、茶葉を発酵させたラペソー(Lahpet so

「湿った茶葉」)が惣菜として広く親しまれており、日本の緑茶とよく似た不発酵茶ラペチヨウ(Lahpet chauk「乾いた茶葉」)と区別されています。ただ単にラペ(Lahpet「茶葉」)と呼ぶとラペソーのほうを指します。

日本では、奈良時代から固形の半発酵茶が薬として飲まれるようになったと言われています。804年から翌805年にかけて唐に留学した最澄(天台宗の開祖)の一行がチャノキの種苗を持ち帰ったのが、日本におけるチャノキの栽培のはじまりとされています。遣唐使の廃止以降は、お茶の利用は極一部の寺院で細々と続けられるに留まっていたましたが、栄西(臨済宗の開祖)が1191年に南宋から種苗を持ち帰ったのを機に再び活発化しました。当時の中国は東アジアの文化の中心地であり、その習俗や文化は日本にも大きな影響を与えました。現代にたとえれば、アメリカ留学生がコカコーラやペプシコーラを母国

に普及させるようなものでしょうか。

チャノキは本州の風土によく馴染み、栽培されていたものが逃げ出して帰化したものが伊豆半島、四国、九州などに点在しており、そのせいで「日本にも野生のチャノキがある」という主張がしばしば聞かれます。強酸性の土壌を好み、日向を好むものの日陰でも元気に育つことから、集落跡や耕作放棄地でも生き延び続け、自生地と錯覚されやすいようです。日本最北端のチャノキは、積丹半島の古平町にある禅源寺の境内にあります。

当園では、色彩館室内公園の一角に5本のチャノキを栽培しております。背丈60cmに満たない小さな木ですが、8月に読売新聞空知版で写真付きで報道されてから、この木を見に色彩館を訪れる方がしばしばおられます。茶畑のように刈り込まず、極力自然に枝を伸ばすとどのような樹形になるか、今後が楽しみな木でもあります。

§ 公園近況 §

バラ園・・・バラ園は現在秋バラが見ごろを迎えています。昼夜の寒暖差によって生まれる深みのある渋色は北海道ならではの醍醐味。ぜひご覧ください。中旬を過ぎると少しずつ冬支度に入ります。今年の反省、来年へのヴィジョンを持つのもこの時期からです。

色彩館大温室・・・チャノキの花が今月上旬まで続きそうです。ギンヨウアカシアは枝先に蕾が出てきており、来春の開花が非常に楽しみです。3年ぶりに大掛かりな剪定を終えたゴールドクレストが、すっきりとした佇まいを見せています。ミヤマシキミ“ルビネッタ”の花が見頃を迎えます。つるバラの秋花がちらほらと咲いております。試験栽培中の秋冬咲きオキザリスは一部が早くも蕾を膨

ませており、順次展示していく予定です。

色彩館南国温室・・・バナナは三尺バナナ・台湾バナナともに生育旺盛ですが、どうやら今年は開花結実せずに終わりそうです。レモンやユズは実がかなり膨らみ、グアバもそろそろ熟してきました。ストレリチアの開花が思いのほか遅く、今月いっぱい咲き続けそうです。ビロウは新しい実が大きな房ごと熟しつつあります。そのビロウの根元に植栽した台湾原産のウラジロスマレが、匍匐茎と種子でゆっくりと殖え広がりつつあります。サイントパウリア・ゴエツェアナは無事に夏越しして成長を速めつつあり、来春の開花に期待を持たせる出来になっています。

ひとつき ひとバラ



文；新堂 大樹
(いわみざわ公園バラ園)

イラスト；藤川 志朗
(イラストレーター)

第七回

フロリバンダ ローズ
レオナルド・ダ・ヴィンチ

Leonrdo da Vinci

作出国：フランス

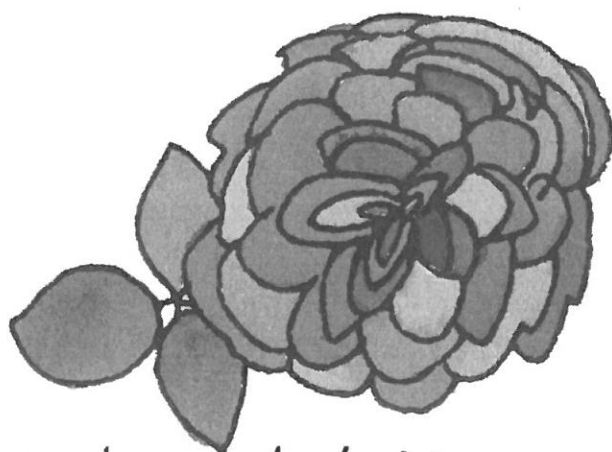
作出者：メイアン

作出年：1994 年

ハーディネスゾーン：Z6

繰り返し咲き性

交配：Sommerwind× (Milrose×
Rosamunde)



Leonardo da Vinci

イタリア・ルネッサンスを代表する偉人レオナルド・ダ・ヴィンチにちなんで名付けられたこの花は、1993 年にはモンツァ国際コンクールで金賞を受賞しました。

樹高は約 1.5m、半つる性になります。花はクォーターロゼット咲きのローズピンク、中輪で形が整っており、しばしばイングリッシュ・ローズに似ていると評されます。香りがほぼ無いという点は残念ですが、花卉はしっかりしていて、雨による傷みが少なく、非常に花保ちが良いです。耐病性、耐寒性が強く、美しさだけでなく栽培しやすさの点でも優秀な品種です。だからこそ、数多の分野で活躍をしたダ・ヴィンチの名が相応しいと言えるのかもしれない。

系統は花が房咲きになるフロリバンダ・ローズ(Fl)で、この系統名の Floribunda は「花を束ねる」という意味があります。フロリバ

ンダ・ローズは、大輪花が咲くハイブリッド・ティー・ローズ(HT)と、小輪ながら花が多数咲くポリアンサ・ローズ(Pol)をかけ合わせた系統で、当初ハイブリッド・ポリアンサ・ローズと呼ばれていたものがアメリカに入ってからフロリバンダ・ローズと呼ばれるようになりました。繰り返し咲き性で、ほとんどが中輪、ポリアンサ・ローズの片親のノイバラの血を受け継いだ丈夫な品種が多いです。

レッド・レオナルド・ダ・ヴィンチはカサンドラ(Fl)×ボニカ(S)で、今回ご紹介したレオナルド・ダ・ヴィンチとは何の血縁関係もありません。名前だけ見て枝変わりと思っていた自分には衝撃の事実で、バラの奥深さを改めて思い知らされました。当園では、レオナルド・ダ・ヴィンチ、レッド・レオナルド・ダ・ヴィンチの両方を栽培しております。色艶の深みを増した秋花を、是非ご覧ください。

§ 9 月の園芸相談から §

Q ; カシス(カラント、フサスグリ)の剪定は、いつ、どうすれば良いでしょうか? 冬囲いは必要でしょうか?

A ; フサスグリは几帳面に剪定しなくても結実します。混みすぎたり隣の植物と重なりそうになっている部分を、古い枝から順番に切っていきます。時期は落葉直後か、雪融け後の芽出し前が最適です。

あまり背丈が伸びず、空知地方では積雪の下で過ごし、翌春の雪融けとともに枝がひとりでに立ち上がってきます。従って、まだ苗が小さくてどうしても枝折れをさせたくない場合を除いて、雪囲いはほとんど必要ありません。

10 月・11 月の市民園芸講座の御案内

10 月 5・12 日(日) 10:00~12:00 ローズツアー

定員 40 人 無料

バラ園スタッフがバラ園を御案内します。

10 月 5 日(日) 13:00~15:00 秋植え球根を楽しもう

定員 40 人 参加費 2000 円(材料代)

講師; 高橋 かつえ 様 (フラワーマスター)

10 月 12 日(日) 10:00~12:00 秋バラを撮ろう!

定員 20 人 無料

講師; 若林 信男 様 (ナチュラリー写真家)

10 月 12 日(日) 13:00~15:00 庭木の冬囲い方法

定員 40 人 無料

講師; 久保 隆 様 (馬淵建設株式会社)

10 月 19 日(日) 13:00~15:00 花木・庭木の剪定と管理

定員 40 人 無料

講師; 川原 元信 様 (有限会社川原花木園)

10 月 25 日(土) 10:00~12:00 バラの越冬方法

定員 40 人 無料

講師; 工藤 敏博 様 (ローズグローワー)

11 月 2 日(日) 13:00~15:00 インドアプランツを楽しもう

定員 40 人 無料

講師; 椿 豊 様 (Green Art 百々屋)

11 月 16 日(日) 13:00~15:00 折バラを楽しもう・中級編

定員 15 人 無料

講師; バラ園スタッフ

11 月 23 日(日) 13:00~15:00 ローズヒップでクリスマスリース作り

定員 5 人 参加費 1000 円(材料代)

講師; バラ園スタッフ

編集・発行 空知リゾートシティ株式会社 (いわみざわ公園指定管理者)
お問い合わせ先 いわみざわ公園 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー
0126-25-6111